



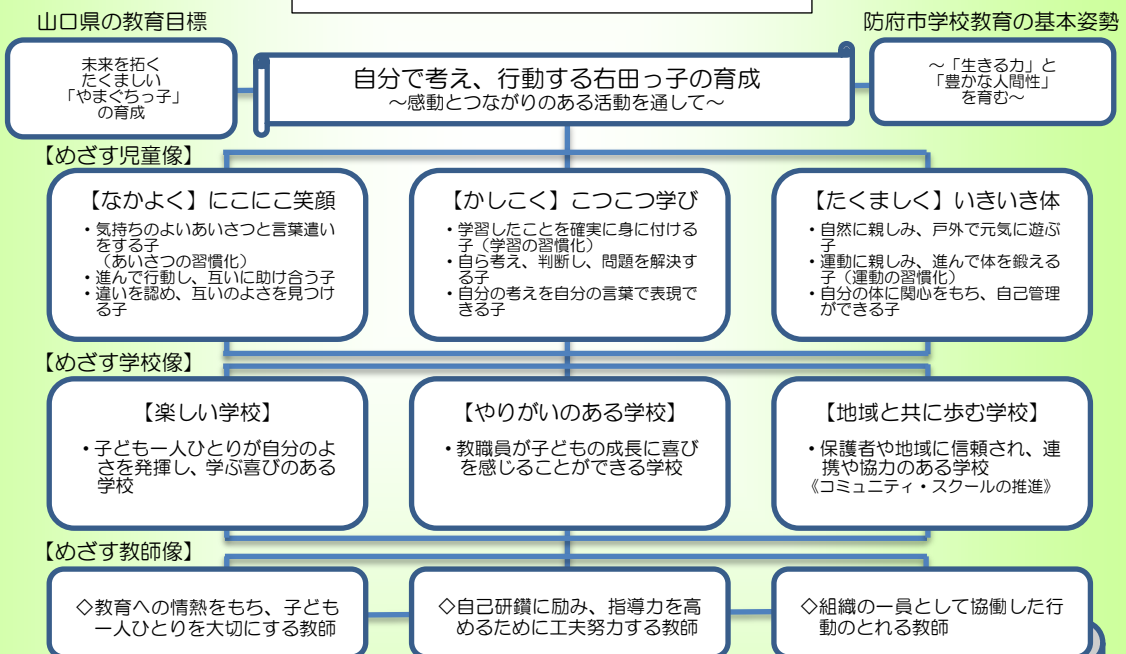
学校教育目標 **自分で考え、行動する右田っ子の育成**
 ～感動とつながりのある活動を通して～

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう。」

ということ、最近ニュース等で良く聞きます。(キャシー・デビッドソン氏の予測) コンピュータが囲碁で人間に勝つ時代となり、人工知能の発達が急激に進んでいる現在、この言葉の信憑性を高く感じてしまいます。

だから、それに対応できる子どもたちを育てるために、「考える」ということが今まで以上に重要視される必要があります。また、今後の日本の教育に「何を知っているか、何が出来るか」とともに「知っていること・できることをどう使うか」、そしてこれらの土台であり、目標でもある「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という三つの柱の資質・能力を、具体的な教育活動を通して育てて行くことが求められています。そのためにも、日頃から「自分で考え、それを実行」していく積み重ねが大切であると考え、今年度から、学校教育目標「自分で考え、行動する右田っ子の育成」に取り組んでいます。下に平成28年度の学校経営について、一覧表にしたものを紹介します。今後とも、どうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

平成28年度 右田小学校の学校経営



【本年度重点をおいて取り組む目標】

- ①朝読書と家庭における読書活動を充実し、子どもの読書活動の推進を図る。
- ②学年のつながりがある体育科の授業と業間体育や「親子で運動」等の推進により、子どもの体力向上を図る。
- ③「あいさつ・そうじ・かかと揃え」をチャレンジ目標とし、規範意識の醸成を推進する。
- ④異学年や地域の方々との交流及びあいさつ運動の推進で、望ましい人間関係作りを図る。(縦割り活動・委員会活動の充実)
- ⑤校内研修を活性化し、授業改善を図り児童の読解力を高める。(互見授業で授業力向上)
- ⑥個に応じた指導により、学力向上の取組を充実する。(記録の効果的活用)
- ⑦コミュニティ・スクールを中核とし、保護者・地域との連携による学校づくりを推進する。

さすが6年生！

4月の学校だよりでお知らせしました「かかとそろえ」の話には、実は続きがあります。始業式の話の中で、「去年、かかとそろえを一番頑張っていた学年は、5年生でした。つまり、今の6年生です。目標はいつまでに達成するかが大切です。6年生なら4週間あれば大丈夫かな？いいえ、校長先生僕たちを甘く見たらいけませんよ。1週間あれば大丈夫ですって言う人がいるかもしれませんね。」と付け加えました。そして、期日は6年生に任せることにしていました。下の写真は、ある日の朝の6年生の靴箱です。3クラスとも見事パーフェクトでした。さすが、右田小学校を代表する学年です。一つのことをやり抜ける人は、他のこともやり抜けます。感心すると共に、素晴らしい最高学年のスタートに拍手です。

何でも、毎日続けることは、とても難しいことです。1年間他の学年のお手本となって頑張り抜くことを期待しています。1年生から5年生の中にも頑張っている人がたくさんいます。特に最近の5年生の頑張りには、驚いています。全校で、落ち着いた素晴らしい学年のスタートをさせそうです。



4/11(月)入学式



4/11(月)に、たくさんの来賓をお迎えし、入学式を行いました。担任発表の時も、お話を聞くときも、新1年生は立派な姿勢で、頑張りました。集会委員会を中心とした5・6年生のお兄さん・お姉さんたちが、歌と踊りで、お祝いをしてくれました。

4/13(水)リーダー旗贈呈式



防府商工会議所の方から、交通安全リーダー旗を贈呈していただきました。

6年生の代表が、しっかりと受け取り、交通安全に気をつけて登下校することを約束し感謝の言葉を伝えました。

登校班のリーダーさん。よろしくお願ひしますね。

《いいところ、見つけた！》
前からプリントを配るとき、後ろの人に「はい、どうぞ。」といって渡すと、もらう人が「ありがとう。」と応えています。さりげないことですが、この一言が温かい人間関係を作るもととなります。

ということが、学級通信に書いてありました。「ありがとう。」が聞こえる環境っていいですね。そこには、必ず笑顔があります。そして、まわりも笑顔になり、元気になります。

笑顔と「ありがとう。」のあふれる学校・家庭・地域にしていきたいですね。

自分で考え、行動する右田っ子の育成
～感動とつながりのある活動を通して～

